

# あふれる想い、伝える言葉

## —戦傷病者とその家族が綴る体験記展—

### 開催趣旨

戦傷病者の体験記には、受傷病の状況や克服への道のりが描かれています。

本展では、こうした多くの体験記に焦点をあて、そこに記された多様な労苦とその背景を、関連する実物資料や証言映像を交えて紹介いたします。

行間に投影させた戦傷病者とその家族のあふれる想い、伝える言葉を感じとってください。

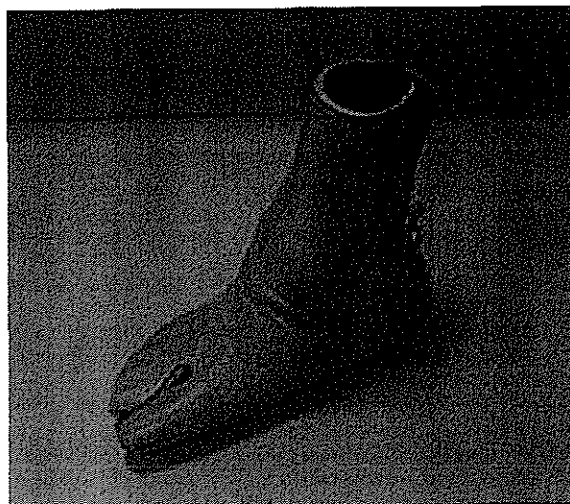
- 主催 : しょうけい館（戦傷病者史料館）  
会期 : 平成22年3月10日（水）～5月9日（日）  
会場 : しょうけい館 1階  
開館時間 : 10:00～17:30（入館は17:00まで）  
休館日 : 毎週月曜日（\*3月22日、5月3日は開館）  
備考 : 入館無料  
内覧会 : 平成22年3月9日（火）15:00～17:00  
関連事業1 : 講演会「体験記と証言映像の間で」  
期日 : 平成22年3月21日（日）14:00～15:00  
会場 : 証言映像シアター（当館1階）  
講演者 : 武田 豊氏（北海道）  
備考 : 聴講無料。定員30名。電話にて申込みのこと。  
概要 : 体験記「隻眼人生・目・眼にまつわる話」、証言映像「平和の光を見つめて」の講演者に、お話しいただきます。  
関連事業2 : 担当学芸員による展示解説  
期日 : ①3月21日（日）、②4月10日（土）  
③4月24日（土）、④5月5日（水）  
時間 : 14:00より30分程度。①のみ講演会終了後に開始。  
備考 : 申込不要。企画展示コーナーにて実施。

■ 展示構成と資料

1. 受傷病のはじまり（その前後を記した体験記と関連する実物資料）

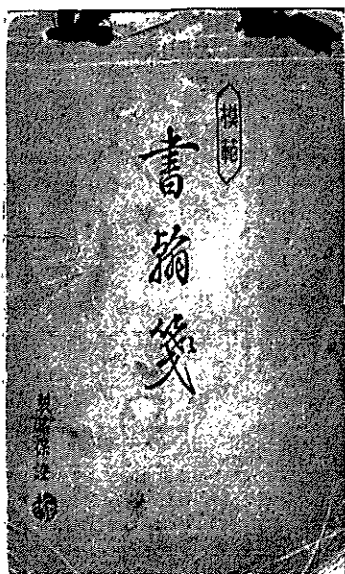


体験記

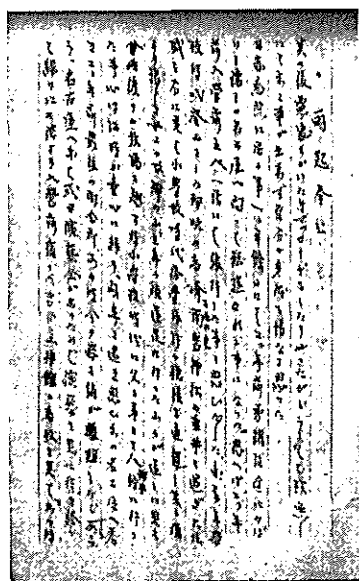


執筆者の義足

2. 療養の日々（その日々を綴った体験記と関連する実物資料）

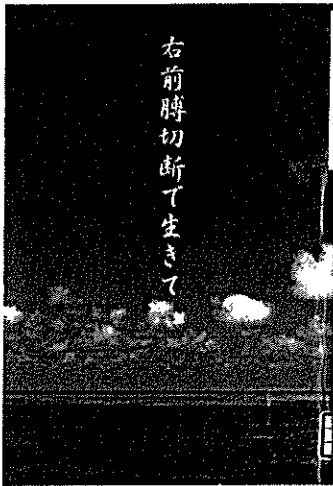


手書きの体験記

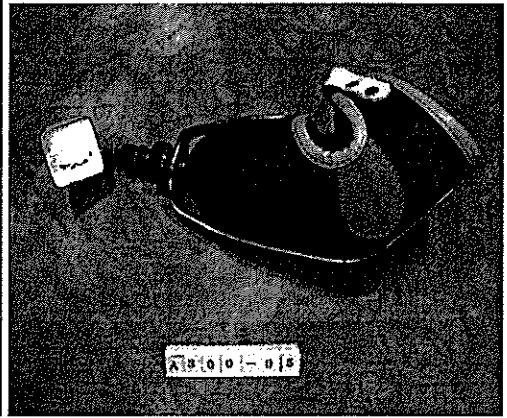
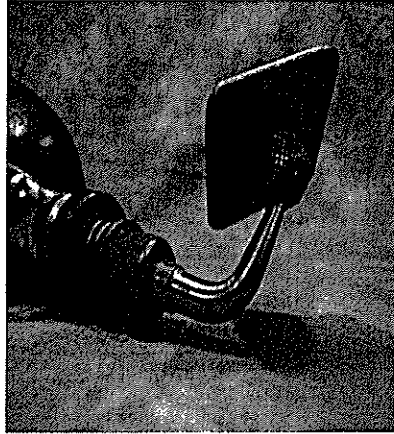


イラスト

3. 克服への道のり（その労苦の過程を綴った体験記と関連する実物資料）



体験記



執筆者の作業義手

4. 今を生きる（傷病とともに生きる日々を綴った体験記と関連する実物資料）

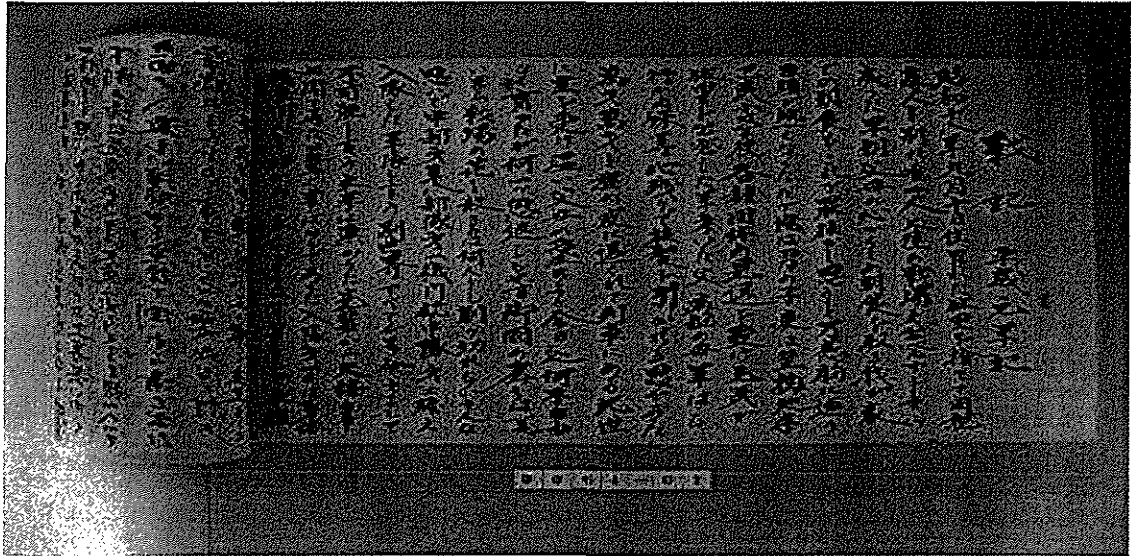


体験記



執筆者の防寒帽

5. 特設展示 (特徴的な体験記の展示)



巻物状の体験記

6. 自由閲覧コーナー (体験記の特設開架)



都道府県傷痍軍人会・妻の会の体験記集



個人体験記

## ■証言映像と関連展示

1 F 証言映像シアターにて、戦傷病者による証言映像を上映いたします。  
あわせて、証言者に関わる実物資料や体験記の展示・特設開架をいたします。

### \* 上映一覧 \*

#### ● Aプログラム (53分31秒)

「平和の光を見つめて」 .....	(13分46秒)
「赤レンガのぬくもり」 .....	(13分03秒)
「一昼夜の恐怖に耐えて」 .....	(13分32秒)
「三回の入院を乗り越えて」 .....	(13分50秒)

#### ● Bプログラム (54分03秒)

「意志あるところ道あり」 .....	(19分29秒)
「誠(まごころ)で守られた命—ニューギニア戦線にて—」 ...	(18分17秒)
「失意の時に届いた一通の手紙」 .....	(16分57秒)

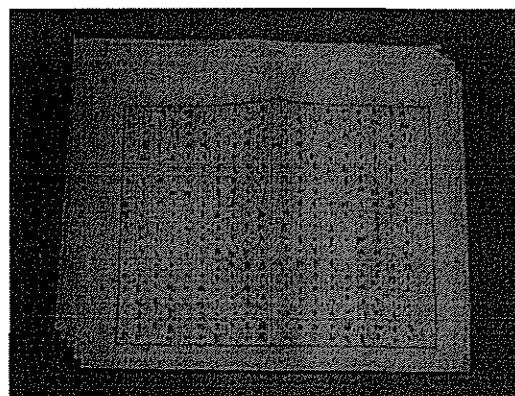
※以上の証言映像はA・Bの順で連続上映いたします。

この他の証言映像は、図書コーナーの小型モニターにて視聴可能です。

※証言映像はDVDにて団体を対象に無料貸し出しいたしております。



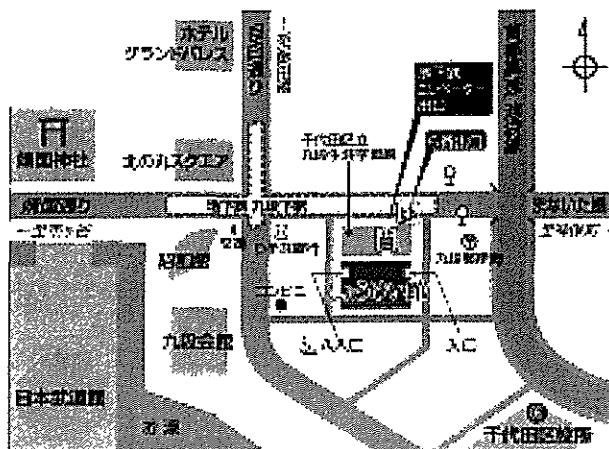
証言者の体験記



証言者の体験記 (手書き)

---

所在地：〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 共同ビル九段2号館  
ホームページ：<http://www.shokeikan.go.jp>



交通案内：地下鉄の場合 「九段下」駅6番出口から徒歩1分（東西線、半蔵門線、都営新宿線）  
都営バスの場合 「九段下」停留所から徒歩1分（高71系統（九段下～高田馬場駅））  
その他：※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。  
※車椅子で来館される場合は館のA入口をご利用ください。

お問い合わせ：Tel (03) 3234-7821 Fax (03) 3234-7826  
担当：学芸課 奥平・木龍

